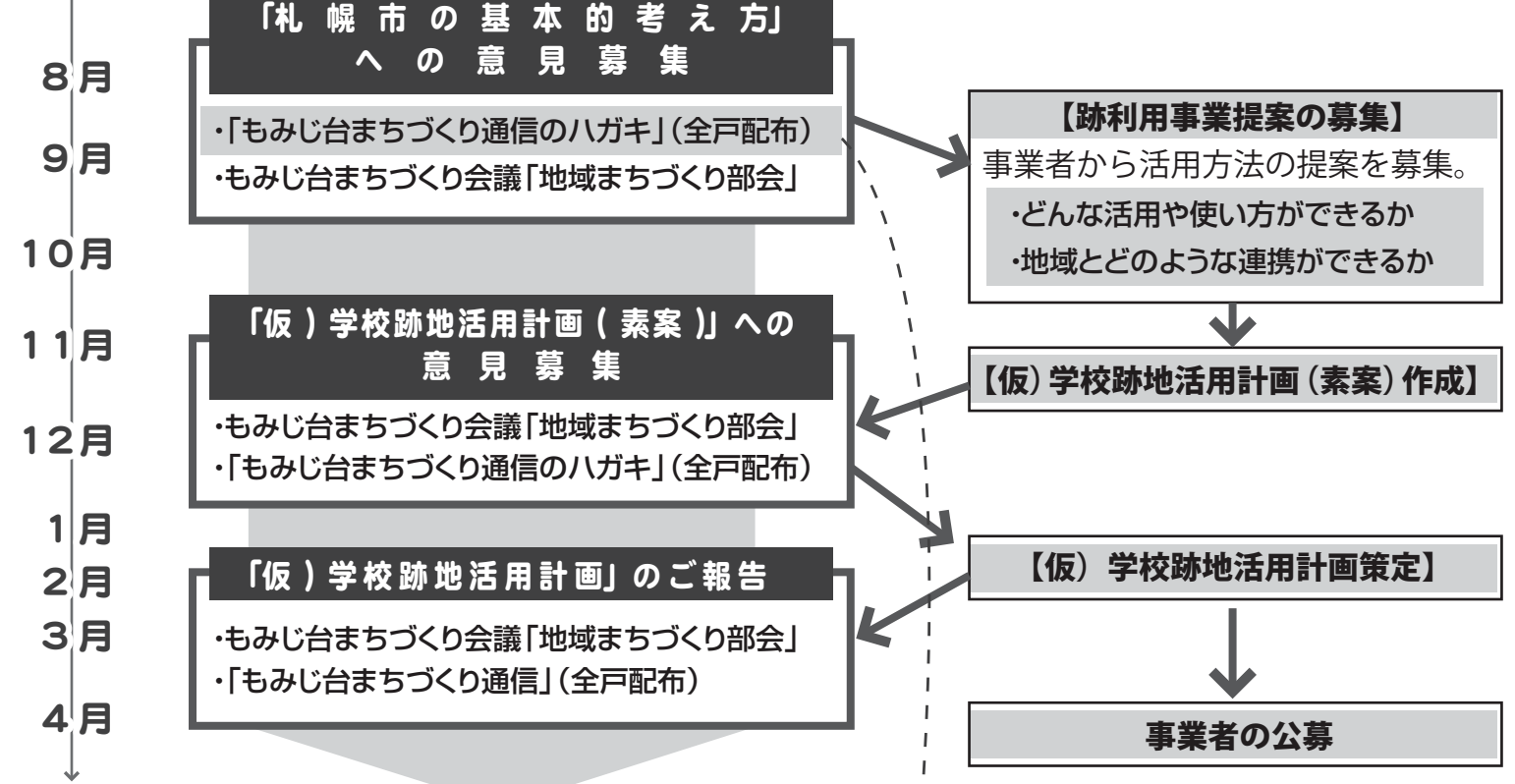


小学校の跡利用の検討のスケジュール(予定)

札幌市では、地域のみなさまのご意見を伺う機会を設けながら、検討を進めていきます。

今後の想定
スケジュール



あなたのご意見をお聞かせください

キリトリセン

あなたのご意見をお聞かせください

「もみじ台小学校」と「もみじ台南小学校」の跡利用について、利用方法や札幌市の基本的考え方などについてご意見がありましたらお聞かせください。

また、まちづくり全般についてもご意見がありましたらお気軽にお書きください。

9月13日(月)までにご投函ください

もみじ台まちづくりセンター
 もみじ台北7丁目1-1 もみじ台管理センター
 ☎:897-6121

事務局

■小学校の跡利用の基本的考え方の問合せ先
札幌市 市民まちづくり局 地域計画課 調整担当
 札幌市中央区北1条西2丁目
 ☎:211-2545

もみじ台まちづくり通信

第7号

このまちづくり通信は、もみじ台のまちの将来を考える話し合いの経過を、地域の皆様にお知らせするものです。

今年度も、安心して暮らし続けられる「もみじ台」をめざして、地域ぐるみで取り組んでいます

「もみじ台まちづくり会議」の「地域まちづくり部会」では、平成21年3月にまとめた、もみじ台のまちづくりの「課題と方向性のまとめ」などを踏まえて、より暮らしやすいまちにしていくなための取組について話し合い、できることから取り組んでいます。また、今年度は、小学校の跡利用についても意見交換を行っています。(詳しい内容は通信の2~3ページをご覧ください。)

この通信で紹介する内容

- 2~3ページ 「もみじ台小学校」、「もみじ台南小学校」の跡利用に係る意見交換の概要と、「札幌市の基本的考え方」をご紹介します。
- 4ページ みなさまのご意見をお伺いします。(「小学校後跡利用の検討のスケジュール(予定)」のお知らせ)

「課題と方向性のまとめ」

内容の一部をご紹介します。

- こんなまちにしていきたい
(まちづくりの方向性)
- まちの若返りのために、子育て世帯が住みたいと思うようなまちにする
 - 地域に誇りを持てるような、若い人たちにも魅力的なまちにする
 - 安心してお年寄りが生活を続けるために、地域での見守りや支え合いがあるまちにする
 - 様々な世代の人が気軽に集える交流の場があるまちにする
 - 静かで豊かな住みやすい環境を守る
 - 公園や緑地、小中学校、児童会館、管理センター等の地域の資源を活かして、まちづくりを進める
 - お年寄りや障がいのある方などが安心して生活ができるよう、住まいの改修や、建替えが円滑にできるまちにする

「もみじ台小学校」と「もみじ台南小学校」が平成23年3月に閉校になるため、跡利用についての意見交換を行っています。

もみじ台地域の4つの小学校は、平成23年4月に2校に統合となります。そのため、もみじ台まちづくり会議地域まちづくり部会では、「もみじ台まちづくり通信第6号(H22.4発行)」で広く募集した「まちづくりサポーター」を加えて、閉校となる小学校の跡利用について意見交換を行っています。



皆様から頂いたご意見は、まちづくりセンターで集約後、担当部局へ送付いたします。

「もみじ台小学校」、「もみじ台南小学校」の跡利用に係る意見交換の概要と、「札幌市の基本的考え方」をご紹介します

1 もみじ台まちづくり会議地域まちづくり部会で行った意見交換の概要

小学校の跡利用についての意見交換の内容の一部をご紹介します。

図：小学校の位置や基本情報



小学校名	もみじ台小	もみじ台南小
敷地面積	13,111 m ²	13,789 m ²
延床面積	6,462 m ²	7,493 m ²
建築年次	1972～1973	1978～1979

全体をとおして出されたご意見

地域で、維持管理するのは難しい

地域の人のために、様々なことが出来る場所に

こんな場所になったら こんな使い方をしたい

身近なところで、色々な世代が集まって交流するための場所に

- 「地域の茶の間」や交流を目的とした喫茶店や複合施設

お年寄りが多くなっているため、その方々を支えるための場所に

- 介護施設や老人ホーム、福祉の複合施設など

地域の若返りのため、子育て世帯が住みやすくするための場所に

- 保育所、学童保育、子育てサロンや子育て支援施設など
- 子どもたちが遊べる場

社会教育の場とするための場所に

- アトリエ（彫刻・陶芸）の場
- 社会教育や、生涯教育の場（社会教育コミュニティセンター）

地域に若い人たちが集まり、学ぶための場所に

- 福祉の専門学校や大学の一部として活用
- 体育館を学生の部活動に活用
- 大学等に使ってもらい、地域でも利用

その他

- 地域の活動をひきつづき行える場所
- 避難場所や防災用具置き場

2 札幌市として想定する課題

様々なご意見をいただく一方で、札幌市が想定している課題をご紹介します。

(1) 改修費用について

学校を学校施設以外で再利用する場合は、消防法・建築基準法に対応した改修に数億円を超える費用が必要となります。

そのほか、施設によっては、スロープ、エレベーターの設置など、バリアフリー化も必要となります。

※消防法に対応した改修：自動火災報知設備の設置など

※建築基準法に対応した改修：壁・天井の不燃化、既存の窓から排煙窓への取替など

(2) 管理運営について

どのような管理運営団体が望ましいか検討が必要です。また、管理運営団体が、どのようにして管理運営費を捻出できるかが課題となります。

3 札幌市の基本的考え方

地域まちづくり部会で出された意見を反映させ、跡利用の課題を解決できる方法として、次のとおり考えました。

学校校舎やグラウンド等について、活用を希望する事業者から、「地域の課題解決が図られるものとなるのか」、「地域の活性化が図られるものとなるのか」などを盛り込んだ事業提案をいただき、その提案と地域の意見を踏まえ、札幌市が「仮）学校跡地活用計画」を策定することとします。その後、その計画に基づいて、改めて事業者を公募し、条件が整えば購入していただいて、活用してもらうこととします。

(1) 跡利用事業提案の募集

活用を希望する者から、活用方法についての事業提案を募集することとします。

(2) 活用方法について

地域の環境を大切に、かつ地域への貢献等が認められるものとして。また、これまでに地域まちづくり部会などで出されたご意見を考慮していただきます。なお、必要な改修費については、事業者側の負担とします。

(3) 地域との連携について

体育館や空き教室を地域が利用することへの配慮や、地域住民との交流プログラムの考え方を事業提案に盛り込んでいただきます。

地域 小学校の跡利用を、事業者にまかせていいのかが心配です。もみじ台地域の将来を考えて、地域の役に立つ使い方を検討すべきでは？

札幌市 事業者を公募して購入してもらうことは最終決定ではありません。地域のみなさんから頂くご意見や、もみじ台地域の「課題と方向性のまとめ」を参考に、まずは、事業者から提案をもらい、地域の課題解決や活性化に役立つ活用方法か、地域の方が施設を利用できるのか、などを検討します。

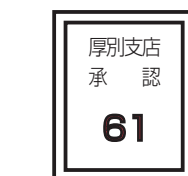
地域 事業者にまかせることを検討するよりも、札幌市の施設として、活用する方向で検討する事が先ではないか？

札幌市 札幌市内部のすべての部局で活用の検討を行いました。活用する部局は今のところありません。また、市の財政状況等も踏まえ検討した結果、このような考え方となりました。

地域 地域貢献を条件にしても、事業者が購入してしまえば、その約束を守ってもらえなくなるのでは？

札幌市 小学校の跡利用が、地域の課題解決や活性化が図られるような使い方となるように、購入する事業者と協定を結んだり、売却条件を設定する方法を検討します。

キリトリセン 郵便はがき
料金受取人払郵便 004-8790



差出有効期限
平成22年9月
13日まで
(切手不要)

札幌市厚別区もみじ台北7丁目
1-1
もみじ台まちづくりセンター

厚別区もみじ台
まちづくりセンター 行



ご住所

お名前